【注意事項 確認画面】

※実際の試験では、本画面に受験上の注意事項を表示し、受験者が試験開始前に 確認することを予定しています。

ここでは、体験版の注意事項や使用方法等について説明します。

<体験版の注意事項等>

- 本アプリケーションは、体験版であり、実際の試験に使用する アプリケーションの仕様とは異なります。また、実装している 機能等については、今後のシステムの開発状況等により変更と なる可能性があります。
- ・ 短答式試験及び論文式試験の操作マニュアルに使用している画像は、実際の試験で使用するアプリケーションに表示される画像と異なる場合があります。
- 本アプリケーションを練習の目的以外で使用することを禁止します。
- 本アプリケーションの内容、画像等の一部及び全てについて、
 無断で複製、転載、転用、改変等の二次利用を固く禁じます。
- 本アプリケーションは、令和6年司法試験の試験問題及び試験
 用法文を登載しています。

1. 体験版のインストール方法

1. 「司法試験等 CBT システム(体験版) Setup.exe」をデスクトップに保存します。



2. 保存した「司法試験等 CBT システム(体験版) Setup.exe」をダブルクリッ クすると、インストールが行われます。



3. インストール完了後、「司法試験等 CBT システム(体験版)ショートカット」がデスクトップ上に保存されます。(初回のみ自動的に起動します。)



2. 体験版の使用方法

2.1 ホーム画面

各ボタンの役割は、以下のとおりです。

- 「注意事項説明へ」ボタン 注意事項確認画面に遷移します。
- 「短答式 使い方を表示」ボタン
 短答式試験の操作マニュアル画面に遷移します。
- 3. 「短答式 試験を開始する」ボタン 短答式試験の科目選択及び試験時間設定の画面に遷移します。
- 「論文式 使い方を表示」ボタン 論文式試験の操作マニュアル画面に遷移します。
- 5. 「論文式 試験を開始する」ボタン 論文式試験の科目選択及び試験時間設定の画面に遷移します。
- 「アプリケーションを終了する」ボタン アプリケーションを終了します。

司法試験等CBTシステム(体験版)				受験番号 12345 司法 太郎
	現在時刻:2025/04/15 09:56:15	会場:0000	試験室:00	
	● 本アブリケーションは体験版であり、今	☆後変更となる可能性があります。		
1		注意事項説明へ		
2		短答式 使い方を表示		
3		短答式 試験を開始する		
4		論文式 使い方を表示		
5		論文式 試験を開始する		
6	c.	アプリケーションを終了する		
-				

2.2 注意事項説明

1. 注意事項や使い方等が表示されます。



2. 各ツールの機能内容は以下のとおりです。

ツール名称	ツールバーアイコン	機能内容
表示倍率変更ツール	$\oplus \Theta$	問題エリアの表示倍率の変更が可 能です。*1
表示幅変更ツール	⊥ ⊮।	問題エリアの縦幅もしくは横幅に 合わせた表示が可能です。*1
表示頁変更欄	1 2	左側に現在閲覧中の頁数、右側に 全体の頁数が表示されます。 左側の頁数に任意の数位を入力す ることで、該当頁の表示が可能で す。
表示頁送りツール	< >	「<」をクリックすることで問題 の前頁、「>」ボタンをクリック することで問題の次頁の表示が可 能です。*1

¹表示倍率変更ツール、表示幅変更ツール及び表示頁送りツールは、各ツールをクリックすることで使用可能です。

3. 「ホーム画面に戻る」をクリックすると、ホーム画面に遷移します。

司法試験等CBTシステム(体験版)		受験番号 12345 司法 太郎
	CBT試験受験に当たっての注意事項	
© © H 		
	司法試験注意事項ファイル	
	P1	
	ホーム画面に戻る	

2.3 短答式試験の操作マニュアル表示

1. 短答式試験に係る操作マニュアルが次のとおり表示されます。ツールバーに ある各ツールの機能内容は、注意事項説明のツールバーと同様です。



2. 画面右上の「×」ボタンをクリックすることで、閉じることが可能です。

2.4 論文式試験の操作マニュアル表示

1. 論文式試験に係る操作マニュアルが次のとおり表示されます。ツールバーに ある各ツールの機能内容は、注意事項説明のツールバーと同様です。

I 	論文式試験操作方法 1.1 画面全体の説明	
	 問題エラア 回転を相次よりア 2. 営業時代よりア 入力時後の日本がマンド・コレーや回復、除付けのほか、次半株素、次半置換、 入力時後の日本が少などを批測することが可能です。 3. 認識相比なエラア 	
	は次メニューのクリックや文字外的により、2歳物は次の間本が強くす。 ・載点で記述書 ・載点で記述書 ・「「「」」、「「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	
	 (第四本の空間管理) (第19 キュア / み渡崎)への切片えぐ頃所容平の変更・同同色・音楽色の変更が可能で す。 (第2)(第49回原本) (第2)(第49回原本) (第4)(第4)(第4)(第4)(第4)(第4)(第4)(第4)(第4)(第4)	

2. 画面右上の「×」ボタンをクリックすることで、閉じることが可能です。

3. 試験時間の設定・試験開始

3.1 短答式試験の試験選択画面

1. 試験選択

憲法・民法・刑法から科目を選択します。

2. 試験時間(タイマー機能)

任意の時間を入力します。0~999分の間で時間を設定できます。

3. 「開始」ボタン

クリックすることで、試験を開始することができます。

試験選択	×
試験選択	
民法	•
試験時間	
120	分
	開始

3.2 論文式試験の試験選択画面

1. 試験選択

倒産法・租税法・経済法・知的財産法・労働法・環境法・国際関係法(公法 系)・国際関係法(私法系)・公法系科目第1問・公法系科目第2問・民事 系科目第1問・民事系科目第2問・民事系科目第3問・刑事系科目第1問・ 刑事系科目第2問の中から科目を選択します。

2. 試験時間(タイマー機能)

任意の時間を入力します。0~999分の間で時間を設定できます。

3. 「開始」ボタン

クリックすることで、試験を開始することができます。



<参考 | P C の入力設定方法紹介> 実際の試験では、I M E の予測入力を制限する予定です(入力履歴を使用し た学習機能は使用可能とする予定)。 I M E の設定は、使用している P C に依存するため、設定方法を参考に紹介

します。なお、設定方法は、端末によって異なる可能性があります。

3.1 IME の設定方法(予測入力・学習・辞書)

- **1.** Windows の設定画面を開き、設定画面の検索欄に「**IME**」と入力します。
- 検索結果内の「日本語 IME 設定」をクリックすると、「時計と言語>言語と地域> Microsoft IME」が開きます。

student ローカル アカウント	時刻と言語 > 言語と地域 > Microsoft IME
IME × Q	▲ 全般 入力設定、文字の種類と文字セット、予測入力、既定の設定、互換性
🗫 言語とキーボードのオプションを編集する	キーとタッチのカスタマイズ キーテンプレート、キーの割り当て、タッチキーボード
中国語 IME 候補ウインドウの高さを変 更する	▶ 学習と辞書
📟 日本語 IME 設定	学習、ユーサー辞書、システム辞書
□ テキスト入力 UI の個人用設定	アザイン テーマ、フォント サイズ、IME ツール パー
□□ テキスト入力のテーマ	e 使用状況データの収集 Microsoft にデータを送信する
すべての結果を表示	
 時刻と言語 	関連情報

3.1.1 予測入力について

- 1. Microsoft IME の項目「全般」をクリックします。
- 2. 「予測入力」の「予測候補を表示するまでの文字数を選択」の部分を「オフ」にします



3.1.2 学習と辞書について

- 1. Microsoft IME の「学習と辞書」をクリックします。
- 2. 「学習」の「入力の精度を高めるために、入力履歴を使用する」を「オン」にします
- 3. 「ユーザー辞書」の「ユーザー辞書ツールを開く」をクリックし、単語の一覧に何も登録されていないことを確認します。

